

# 高知から現地へ。東日本大震災をその目を見た **4者の声**

総合建設コンサルタント  
株式会社第一コンサルタンツ 代表取締役社長

## 右城 猛さん

TAKESHI-USHIRO

土木関連の設計・調査・測量・補償等の業務に携わる、総合建設コンサルタント会社を経営。東日本大震災では、ボランティア団体「宮城県を元気にする高知応援隊」に参加、社員14名と共に現地で炊き出しや被害状況の調査等を行った。



現地での活動風景

宮城県では、現地の県議会議員らの協力のもと、調査を実施。調査結果は報告書にまとめ、高知県測量設計業協会の会などでも発表された。



## 社員一同、この経験を必ず活かしていきます

社員14名と共に、6月17日から4日間、宮城県に向かいました。前半の2日間は宮城県南三陸町などで、炊き出しや地元の方との交流などのボランティア活動をし、後半の2日間は、被災状況などの調査をするため、宮城県石巻市や女川町を廻りました。テレビでは、津波で何もかも流され、ほぼ更地になった状況などをよく取り上げていましたが、実際に現地に足を運ぶと、鉄筋コンクリートの建物は残っているものが多かったり、高台にある家は一見無傷でそのまま残っていたり、報道されている状況とは少し差があります。私はその建物が残っている・残っていないという、状況に差があることこそ、ヒントがあると考えています。どうして流されなかったのか、どうして倒れなかったのか：その答えは、南海地震対策にきつと繋がります。私たちの仕事は、地震対策はもちろん、地震が起きた後、復興していくためにも重要な役割を担う仕事です。現地をこの目で見て感じた経験を、社員一同活かしていきたいと思えます。

